2020 年「東アジア文化都市」に向けた 取組みについて

平成30年11月6日北九州市教育委員会

「北九州市文化振興計画」(2016年4月改訂)



基本 理念 市民が文化芸術を身近に感じ、市民自身が文化芸術を支えるまち

【施策7】文化芸術によるまちづくり

(3)創造都市への取組み

文化芸術の持つ力を地域経済、教育、 福祉などに生かし、

創造的なまちづくりを進めていく。

なぜ文化芸術?



資料:文化庁

これからは心の豊かさか、まだ物の豊かさか?

 全体
 63.1%

 「これからは心の豊かさ」
 「まだ物の豊かさ」

 20~29歳
 51.6

 30~39歳
 54.5

 40~49歳
 57.4

 50~59歳
 67.0

 60~69歳
 71.9

 70歳以上
 22.6

 0%
 10%

 20%
 30%

 40%
 50%

 60%
 70%

 80%
 90%

 100

- ■物質的にある程度豊かになったので、これからは心の豊かさやゆとりのある生活をすることに重きをおきたい
- ■どちらともいえない
- ■わからない
- ■まだまだ物質的な面で生活を豊かにすることに重きをおきたい

出典:内閣府「国民生活に関する世論調査」(平成26年度)

文化芸術のもたらす効果



資料:文化庁

芸術による経済成長

- ■瀬戸内国際芸術祭(香川県)
- 美しい瀬戸内海を船で巡りながら、島の自然や文化に溶け込ん だアートを体感する現代アートの祭典。
- 平成28年に開催された第3回の来場者数は約104万人、 約12億4千万円の投資→約139億円の経済効果
- ■越後妻有トリエンナーレ(新潟県十日町市)
- ・里山を舞台に、国内外のアーティストによる作品制作・展示や地域 住民との交流などの様々なイベントを行う芸術祭。
- ・平成27年に開催された第6回の来場者数は約51万人、 約11億5千万円の投資→約51億円の経済効果
- ■姫路城の改修(兵庫県)
- ■平成27年に天守の大規模改修を完了(<u>総事業費:約30億円</u>)。
- 平成26年度と平成27年度で、入場者数が約91万人→約280万人、 観覧料収入が約2.9億円→約18.7億円



「創造都市」とは



欧州を中心として、 基幹産業が衰退し街が疲弊 ⇒産業の空洞化、地域の荒廃

◆文化を都市政策の柱に据え、 積極的に推進

⇒<u>まちに新たな魅力が生まれ、</u> 都市再生が図られる

という実例に基づく考え方



東アジア文化都市とは

毎年、日中韓の3か国から選定された都市が交流しながら、 一年を通じて様々な文化芸術事業や交流事業を集中的に実施



2020年東アジア文化都市 開催都市決定





2018年8月8日

2020年国内開催都市に北九州市が決定!

本市の強み:国際会議・イベントの実績 地力州市





G7北九州エネルギー大臣会合(2016年)



プロの尺八・筝と弦楽室内合奏団によ る合奏ステージ



西日本工業倶楽部(国指定重要文化財)での ワーキングディナーの開催・戸畑祇園大山笠

北九州国際音楽祭 (1988年~) 北九州国 10.7 11.26 1

北九州国際漫画大賞(2017年~)



東アジアをはじめとした 国際イベント・会議の 豊富な実績

本市の強み:先進的なアートシーン **九州市 🍪



メディア芸術の先進的な取組み



10万人以上を動員する 北九州ポップカルチャーフェスティバル



小倉駅の「銀河鉄道999」を モチーフにしたモニュメント



漫画体験教室

「映画の街・北九州」北九州フィルムコミッション

「相棒-劇場版IV」

市民エキストラ 3000人が参加! 市内最大級の目抜き通り6車線を 300メートルにわたり12時間全面封鎖



- ◆「東京ドラマアウォード2014特別賞」受賞(2014年)
- ·「第23回福岡県民文化賞(社会部門)」受賞(2015年)
- ◆「平成28年度ふるさとづくり大賞(総務大臣賞)」受賞(2016年)

豊かな文化土壌



強みを活かした文化芸術の取組み

◆劇場文化の創造

北九州芸術劇場を中心とした劇場文化の 創造

◆文学の街・北九州

ゆかりの偉人・先人のPR・顕彰や文学賞の創設による担い手の育成。文学サロンでの情報発信や地域交流

◆合唱の街・北九州

子どもから高齢者まで世代を超え、多くの市民が参加する身近な合唱の取組み

◆多彩なアウトリーチ

学校や放課後児童クラブへの訪問コン サートや美術館への招待事業「ミュージ アムツアー」の実施



北九州文学サロン



グラン・ソレイユ合唱団



音楽アウトリーチ

豊かな文化土壌



日本遺産やユネスコ無形文化遺産、世界遺産など 世界に誇れる地域資源



世界文化遺産 「明治日本の産業革命遺産」 官営八幡製鐵所関連施設



ユネスコ無形文化遺産 「山・鉾・屋台行事」 戸畑祇園大山笠行事

2016年11月登録

日本遺産 「関門"ノスタルジック"

「関門"ノスタルジック" 海峡〜時の停車場、近代化 の記憶〜」門司港駅

2017年4月認定

2015年7月登録

◆「平成29年度文化庁長官表彰(文化芸術創造都市部門)」受賞

地域資源を活かして「映画の街」「文学の街」「多様な文化遺産の保存・活用」をはじめ、様々な文化芸術に関する取組みで都市の魅力を高めていることが評価され県内初受賞

東アジア文化都市・企画案イメージ



- ◆2020年1年間を通じて多様な文化プログラムを展開
- ◆オリンピック・パラリンピック開催期間にあわせ海外からの訪日客を 日本文化でお迎えする「夏のコア期間」、市民を中心に東アジアの 文化芸術で盛り上がる「秋のコア期間」の2つのコア期間を設定

通年事業(日中韓交流事業、市主体事業、市民企画事業 など)

2019年

プレイベント

2020年 2~3月

開会式典

夏のコア期間 2020年7~8月

オリパラ・ ウェルカムプログラム 秋のコア期間 2020年10〜11月

東アジアアート プログラム **2020年** 11月~12月

典步会関

夏のコア期間

秋のコア期間

2019

2020



7/24~8/9 東京オリンピック 8/25~9/6 東京パラリンピック



日中韓文化大臣会合 (時期未定)

夏のコア期間事業



オリパラ・ウェルカムプログラム(2020年7~8月)

【伝統芸能】

東アジア伝統芸能饗宴

世界に誇れる日本や本市の伝統文化

- ・芸能の魅力を国内外へ広く発信
- ①一般公募による子どもたちの夢舞台
- ②全国トップクラスのアーティストと 地元文化活動者による新作公演
- ③アーティスト・イン・レジデンスに よる日中韓の伝統芸能のコラボレー ション



秋のコア期間事業



東アジアアートプログラム(2020年10~11月)

【メディア芸術】

アジアメディア芸術祭

アジア・世界の特に若い世代に向けて

漫画・アニメや映画などの メディア芸術を強力に発信

- **①ポップカルチャーフェスティバル**
- ②北九州フィルムフェスタ
- ③北九州国際漫画大賞

文化庁補助事業

「国際文化芸術発信拠点形成事業」採択(2018年) 「先進的文化芸術創造活用拠点形成事業」採択(2017年)



55th Anniversary 北九州市

秋のコア期間事業

東アジアアートプログラム(2020年10~11月)

【文学】

東アジア文学会議



秋のコア期間事業

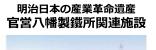


東田Artフェスティバル for SDGs

【東田ミュージアムクラスターエリア】

北九州市立 いのちのたび博物館







東田第一高炉史跡広場

北九州市 イノベーションギャラリー



北九州市 環境ミュージアム





その他事業



コア事業以外にも、多彩なイベントを集中的に開催し、 市内各所での盛り上がりを図る

- ◆2020年北九州国際音楽祭
- ◆市民公募劇団による東アジアの交流を テーマとしたオリジナル作品公演
- ◆東アジア「食」の祭典
- ◆北九州障害者芸術祭

など



市民劇団「青春座」



食のイベント



北九州障害者芸術祭

交流事業・市民企画事業



日中韓青少年交流事業

- ◆青少年を対象とした開催都市間 の相互派遣
- ◆漫画・アニメや日本ならではの 生活文化などを通じた国際交流



市民企画事業

◆市民企画事業の公募
市民の一体感を図り、
市内全体で盛り上げるための文化事業の公募



今後の進め方



●市民の機運醸成のための広報・啓発

各種媒体を活用した広報や開催記念イベントの実施等により、事業開催への気運の盛り上がりを図る。

【教育委員会との連携】

- ・小中学校、市立高校での広報。
- ・東アジア文化都市事業への参加・連携。

(全国中学校総合文化祭福岡大会との連携。個別事業(合唱等)への参加など)

・中韓開催都市との青少年交流事業実施にあたっての連携。

●実施体制の構築

庁内の推進体制を整備するとともに、文化芸術の専門家など芸産学官が参画する準備委員会を立ち上げる。

【教育委員会との連携】・庁内推進体制への参画。



「東アジア文化都市」後の展開とレガシー

2020年 創 ・文化芸術に関する専門人材育成 本質的価値 ・文化芸術を支える仕組みづくり 東アジア文化都市 誰もが身近に触れ合える の向上 都 文化へのアクセス向上 北 ・高齢者へのアウトリーチや 九 障害者アートの普及など 社会的価値 州 文化芸術による社会包摂 の向上 継続的な交流による 東アジアの連帯感の促進 北 都市ブランド の発信 九 州 ・東アジアのメディア芸術拠点の形成 シビックプライ 経済的価値 **ത** ・人材育成やネットワーク構築による の醸成 コンテンツの産業化 の向上 開 ・多言語案内の整備や文化遺産の活用 文化芸術による 国際交流の促進 催 (文化GDPの獲得) による文化観光の振興